



<本年度クラブ会長方針>

**変わる勇気と変える勇気を持ち、
 和の心でロータリーの輪を広げよう！**

2024-25年度R.I.会長
 ステファニー A.アーチック

承認 1985年2月12日 会長 飯田昭夫 事務局 名古屋市中区栄4-7-10 栄第8ロイヤルビル6F
 例会日 木曜日12時30分 幹事 木村吉伸 電話 (052)251-0181 FAX (052)251-0337 〒460-0008
 例会場 名古屋東急ホテル URL <http://www.nagoya-osu.org> E-mail office@nagoya-osu.org

第1971回例会

水と衛生月間

令和7年3月13日(木)

職業奉仕例会

JERRA碧南火力発電所見学

出席計算数 会員61名

出席計算数

48名中22名出席

出席率45.83%

前々回出席率82.14%

例会プログラム

職業奉仕例会

JERRA碧南火力発電所見学

集合：名古屋東急ホテル 9時40分

現地集合 10時45分

説明・見学

於 JERRA碧南火力発電所

10時45分～12時30分

例会・食事

於 まるは食堂のんく常滑店

13時00分～14時00分

ニッポックス

職業奉仕委員会の皆さま、ありがとうございます。

飯田 昭夫・松本 哲朗
 柴岡 正将・酒井 修
 吉田 憲一・山口 正孝

米山奨学生歓送会がありました。
 近藤明美さんカウンセラーとして
 一年間ありがとうございました。

本日の職場例会よろしくお願
 います。 加藤巳千彦
 加藤さんお世話になります。発電所
 楽しみにしています。 吉田 隆彦

堀江 英弥・小澤 幸男

職業奉仕委員会の皆様本日はあり
 がとうございます。 岡村 隆徳
 林 順治・杉本 忠夫
 職業奉仕委員会の皆さんありが
 とうございます。楽しみましょ。

近藤 明美・丹下 富博
 河合 誠弥・鬼頭 茂成

会長挨拶 会長 飯田 昭夫

職業奉仕例会

JERRA碧南火力発電所見学

職業奉仕委員長 加藤巳千彦

カーボンニュートラルの実現に
 向けた取り組みを進める国内最大
 の石炭火力発電施設「碧南火力発
 電所」の見学を職場例会として企
 画しました。この発電所は愛知県



の約半分の電力
 供給を担う重要
 なインフラであ
 り、CO₂排出量
 が多いとされて
 いる火力発電に
 おいて「アンモ
 ニア混焼技術」
 を確立し205
 0年を目標に発
 電時にCO₂を
 排出しない「ゼ
 ロミッション火
 力」に取り組ん
 でいます。見学
 前には最新のテ
 ータをタイムミ
 ックな映像でま



見学記念 2025年 3月13日
 JERRA museum

とめたレクチャーを受け、その後
 バス車からボイラ・タービン・発
 電機等の主要設備や、アンモニ
 アタンク、貯炭場など、石炭火力発
 電特有の設備の説明を受けなが
 ら見学しました。

普段なかなか見ることのできな
 い火力発電所の内部や環境への取
 り組みを学
 ばせていた
 だく良い機
 会になった
 のではない
 でしょうか。

ご参加いた
 だいた皆様
 ありがとうございます。



その他・お知らせ

派遣青少年交換学生

マンズリーレポート(2月)

青少年交換学生 渡辺 唯加

(ワール／ベルギー)

お久しぶりです。二月が始まった
 のが昨日のことのようです。年が
 明けてからまた一段と時間が過ぎ
 るのが早く感じるようになってし
 まいました。このままたとえとい
 う間に帰国日当日になりそうなの
 で明確な目標を決めてそれに向け
 て充実した毎日を送りたいです。
 さて二月はたくさん遊んで楽し
 んだ一か月でした。1日にはロータ
 リーが開催したハーフタイムミー
 ティングに行きとてもスツに他の
 インバンドに会いました。中に
 は一週間前にベルギーに到着した
 ばかりだという新しい派遣生の子
 もおりバッチ交換やおしゃべりを
 して楽しめました。ハーフタイム
 ミーティングでは、フランス語の
 テストを行うと聞かされており、

不安な気持ちだったのですが、ふ
 たを開けてみるとそれはフランス
 語のテストではなく、ベルギーの
 歴史や地理についての簡単なクイ
 ズのようなものでした。(ワール
 ルローの戦いペ
 ルギーの有名な
 画家など) 知っ
 ている問題も多
 かったのですが、
 知らない問題も





あり、新しくベルギーのことを知れてとても興味深かったです。その次の日には学校のクラスメイトが出ているコンサートを見に行きました。歌や劇、ダンスなどいろいろな演目を一度に楽しむことができましたが、夜の九時半に閉演だと聞いていたにもかかわらず、延長に延長を重ね、結局終わったのは夜の十一時半でした。日本ではありえないのですが、ホストファミリーは柔軟に対応してくれて、よくあることなのだと少し笑ってしまいました。終わり際には、劳い意味を含めてクラスメイトに花束を渡しました。オレンジ色を基調とした花束で、クラスメイトはとても喜んでくれたので嬉しかったです。

別日には、ホストファミリーに抹茶を振る舞いました。その日はちょうど「candeur」と呼ばれる、家族や友人とクレープを焼いて楽しむ日だったので、たまたま遊びに来ていたアルゼンチン人のインバウンド（今のホストファミリーの娘さんが滞在している家の娘さん）と一緒に楽しみました。こちらのクレープはホイップクリームやフルーツをのせて食べるのはあまり一般的ではなく、砂糖に

レモン、チョコスプレーやステラといったシンプルな食べ方が伝統的なのだそうです。抹茶はベルギーで買ったものを使って点てたのですが、まったくおいしくなかったので、今度はちゃんとおいしいお粉で再挑戦したいです！

7日はホストマザーの誕生日で、一緒にプリュッセルの日本料理店に行きました。ほかの日本人のインバウンドがおいしいと言っていたお店で、私もずっと行ってみたいとお店ですが、少しお高めな値段だったので、行くことができていませんでした。そしたらその話を聞いていたホストマザーが私の誕生日に食べに行こうと言ってくれ、ホストファミリーと一緒に行くことになりました。店員さんも店内の雰囲気も日本と全く一緒で、インバウンド以外と久しぶりに日本語で会話したので、敬語を忘れてしまっていて少し戸惑っていました。ですが料理は本当においしく、ホストファミリーもおいしいと言って食べてくれました。久しぶり

に食べた焼き鳥や唐揚げの味に感動してずっと気分が上がり続けていました。ホストファミリーには感謝しかありません。

次の日には、ロータリーの企画でパリに一日トリップに行きました！これは私が参加する最後のロータリートリップだったので、すごく楽しみにしていました。いつも通り、朝六時半に集合というなかなか辛いスケジュールでしたが、何とか起きて連れて行ってもらい

ました。相変わらずの大人数で、最初のころと比べれば名前を知っている子のほうが多くてそれを実感できたのがとても嬉しかったです。最初に行ったのはオペラ座、その豪華絢爛な建築に目を奪われました。細部までこだわっていて、今までいろいろな建築物を見てきましたが、その中でも上位に入るほど素敵な建築でした。その次にはルーブル美術館へ行きました！とはいっても中には入らず、外から写真を撮るだけでしたが、あの特徴的なガラス張りの三角形の建物を自分の目で見る事ができて興奮がやみませんでした。その日は本当にいいお天気だったので、日本国旗と一緒に写真を撮って楽しみました。そのあとにも凱旋門やすごくきれいなショッピングモールなどフランスを代表する場所へ行きました。あつというまに時間は夜になり、そろそろ帰るころかと思っていたら、急に目の前にきれいなエッフェル塔が現れ、他のインバウンドと一緒に走りまわりました。エッフェル塔は定刻になると輝き出すのですが、到着したのが輝く10秒前だったので急いでカメラを取り出し、そのきれいな情景を写真に収めました。夜のエッフェル塔はあまりにもきれいで、多くの人がいきましたが、それでもずっとここにいたいと思ってしまっ

ほど魅力的な華やかさでした。それと同時に、インバウンドとの旅が終わってしまうのだと感傷的な気持ちにもなりました。これから

ももちろんロータリーのアクティビティはありますが、私にとってインバウンド達と一緒にける最後の国外旅行（長期旅行の申し込みができなかつたため）だったので、やはり名残惜しい気持ちが強かったです。とても悲しかったのですが私たちが二回目のエッフェル塔のダイヤモンドフラッシュを見た後に全員で帰りのバスに向かいました。本当に楽しい思い出ができたので良かったです。

その週にはバレンティンがあったので、私も日本人の友達と一緒に作ることにしました！こちらでは、バレンティンは好きな人にラブをあげるのが主流らしいのですが、日本の文化でそういうものがあると伝えると、素敵な文化だねと言われて嬉しかったです。私は今回、第一から第三のホストファミリーと、同じクラブに所属しているインバウンド二人に向けて、まのカップケーキを作ることにしました！友達ばかりのクッキーを作ると言って張り切っていました。近くのスーパーに材料を買いに行き、さっそく作り、見事成功しました！ホストファミリーもとても

も喜んでくれて、頑張ってたなと思います。

そして二月の月末はバカンスに入り、ホストファミリーとスペインのマドリッドに行ってきました！5日間の旅でしたが、本当に充実した日々を過ごすことができました。本場のフラメンコを鑑賞し、タパスやパエリアなどのスペインならではの食べ物もたくさん食べたりしました。そしてなんといっても印象深かったのは、ソフィア王妃芸術センターに保管されているゲルニカでした。教科書で何度も見たことがあるくらい有名な絵ですが、そのサイズはとにかく大きく、迫力がありました。多くの人がゲルニカの前で長い時間立ち止まり、静かに何かを考えている様子がとても印象深かったです。他にもプラダ美術館へ行ったり、マーケットに行ったりしてとても楽しかったです。ベルギーにはローターがないので、ホストファミリーがいろいろなところ連れていってくれるのが心からありがたいです。

三月はまだ始まったばかりですが、充実した一か月になるよう頑張りたいと思います。

公共イメージ向上委員会
横川 誠人
深谷 昭広・小笠原和俊
小澤 幸男・黒岩 麗子
*本文は、原則、頂いた原稿を転載しています。

